

あきる野市議会



自由民主党

# 志清会だより 第35号

～あきる野の未来に責任を持ち、市民と協働して歩む～

※ 志清会は、あきる野市議会では志を同じくする9名の議員による政策グループです。

会長



ほりえ たけし  
堀江 武史  
淵上42歳④

幹事長



むらの えいいち  
村野 栄一  
二宮東 52歳②

会計



なかむら かずひろ  
中村 一広  
油平 51歳①

## 謹賀新年 ～志清会の決意～

明けましておめでとうございます。市民の皆様におかれましては、明るく希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、台風 19 号により市内に甚大な被害が発生しました。被災された方々が安心して生活を取り戻せるよう全力で支援を尽くしていきたいと思っております。私たちは、今年の最重点事項として、皆様の生命と財産を守るために、防災対策をしっかりと取り組んでまいります。

あきる野市長選挙では、新市長が誕生しましたが、市政を停滞させることなく適切な運営に取り組んで頂きたいと願います。

しかし、既に工事に着手していた、武蔵引田駅北口土地区画整理事業を安全対策も不十分なまま、何の説明もなく停止させたり、秋川高校跡地への特養ホーム誘致を独断で都知事へ要望するなど、関係者への説明責任を果たしているとは言い難い行動が見られます。また、選挙中の公約の見直しが早くも行われており、市民をいかにミスリードしたかが明らかになってきました。(裏面参照) そのため、市政は混乱しています。私たちは、皆様のご意見をしっかりと聞きつつ、区画整理事業の早期再開を目指し、市政の安定を取り戻してまいります。よろしく願い申し上げます。

志清会一同



こごもり としひと  
子籠 敏人  
菅生 46歳③



あまの まさあき  
天野 正昭  
小和田63歳②



なかじま ひろゆき  
中嶋 博幸  
留原 53歳②



くぼしま せいいち  
窪島 成一  
平沢 65歳①



ひらはら しょうご  
日原 省吾  
野辺 54歳①



うすい けん  
臼井 建  
秋留 50歳①

※上段：氏名 下段：住所、年齢、当選回数

## 新年度予算編成に向けて要望書を提出

志清会では、来年度の予算編成を前に会派としての要望書をまとめ、市へ提出しました。

1. 防災・防犯対策の強化
2. 公共施設の計画的改修等
3. 子育てにおける切れ目のない支援
4. 高齢者、障がい者施策の推進
5. 観光まちづくりの推進
6. 公共交通対策の強化・充実
7. 教育の充実
8. 情報発信の推進・充実
9. 人口減少対策等
10. 財源確保策の強化
11. 農業の振興
12. 産業の振興
13. 武蔵引田駅北口土地区画整理事業の推進 など



山田地区の被災現場を井上代議士と視察

## 都庁で区画整理事業等勉強会を実施

昨年 11 月 26 日、土地区画整理事業及び森林環境譲与税について勉強するため、会派で都庁を訪れました。そこでは、田村都議が同席の上、都市整備局市街地整備部区画整理課長、産業労働局農林水産部森林課長と質疑応答を行いました。

あきる野市の武蔵引田駅北口土地区画整理事業が、都内市施行区画整理事業の中で最も安価な事業であること（施工面積 1 ha 当たり単価は約 3.6 億円で羽村市事業の約 3分の1）、新市長が主張していた「東京都は同事業を見離している」ということは、決してないことを確認できました。また、森林環境譲与税についても今後の展望などについて話し合い、良い知見を得ることができました。



田村都議と都庁にて



# 新市長、早くも公約破綻か？議会最終日に不適切発言を謝罪

新市長が選挙時に一貫して主張していた「武蔵引田駅北口土地区画整理事業を全面見直し、34億円を市民の暮らしにまわす」という公約が早くも見直しすことになりそうです。「事業費を一部見直して早期再開する」と主張を変更し、区画整理を見直すことで34億円を産みだし、それを市民生活へまわすことなど公約自体に矛盾があることが明らかになりました。さらに、再開が遅れると企業や地権者等への損害賠償や土地の買取などが約30億円となる可能性があることが分かりました。ケースによっては、それ以上になる可能性も否定できません。12月議会では、新市長の選挙時での公約の実現性が希薄であること、特養ホームの誘致等を独断により物事を進めるため軋轢が起きていることを私たちは指摘しました。しかし、残念ながら市長から説得力ある答弁はなく、議論はかみ合いませんでした。また、市長は、志清会議員の質問に対する答弁の取り消しを申し出るとともに、不適切な発言をしたことを謝罪しました。私たちは新市長を批判することが目的ではありません。市政を混乱することなく、市民サービスを円滑に行えるような環境を取り戻したいと思っています。今後ともご支援ご理解のほど、よろしくお願い致します。以下、12月議会における各市議の主張の一端をご紹介します。(天野市議は議長のため、一般質問は致しません。)

※QAは本会議でのやりとりを抜粋、要約したものと なっています。議会HPで録画映像をご覧ください。

## 【武蔵引田駅北口土地区画整理事業の見直しに疑問点】 【堀江 武史 市議】

武蔵引田駅北口土地区画整理事業の見直しに着手するとのこと、疑問点がある。万が一、有権者が誤解していることがあるとすると、大きな問題なので、質問する。

- Q 地権者への説明会の実施は。 A 11月30日に開催(市長、閉会前に退席)
- Q 市民検討会議の実施とは。 A 6人で1月までに開催
- Q 国、都から見放された区画整理事業はあるのか。 A ありません。
- Q 市施行で破綻した区画整理事業はあるのか。 A ありません。
- Q 区画整理事業は再開するのか。 A 早急に再開します。



## 【東秋留駅周辺の道路整備等について】 【窪島 成一 市議】

Q 東秋留駅周辺の道路整備を掲げているが、駅の改善や、道路整備を進めるということは駅周辺のこれまでの経緯や課題を認識していると思うが、その認識について伺う。  
A 明快な答弁は得られず。

Q 老朽化した市道や橋梁、危険な水路の改修を進めることについて、簡単にはできないものとするが、市が、管理を行っている、市道の総延長、種別延長、橋梁の総数を市長は把握しているのか。  
A 市長は、市道の総延長、橋梁の総数を把握していないため、都市整備部長が答弁する。

Q 急傾斜地や土砂災害への対策について、市長が認識している秋川地区の警戒が必要な市域とは具体的にどこなのか。市のハザードマップには示されているが、見に行ったことはあるのか。  
A 自分で現地を見に行っていない。



## 【市長選公約の下水道整備、市長の説明責任について】 【子籠 敏人 市議】

Q 現在の下水道整備計画は、澤井前市長の下で決められたものであり、この計画で整備するには相当の年月を要する。「下水道区域の拡大、秋川地区全域での水洗化を実現します」と市長選で公約しているが、4年間の任期でこれを実現するには、大幅に予算を拡充させねばならない。拡充するのか。  
A この計画で実施していく。

Q 4年間で実現できないということ、そして市民に過度の期待を持たせ、それを履行しない政治家であるということが分かった。公約は破綻してきている。市長は発言がAと言ったり、すぐBと変わったり一人走りしている。市長の発言であり、発言には気をつけてもらうことを肝に銘じて頂きたいが、いかがか。  
A 何を訊きたいのか分からない。



## 【区画整理の早期再開を】 【中嶋 博幸 市議】

Q 大半の議員も早期に再開を望んでいるし、3月中に再開しないと29億円で土地売買の協定書を締結している内定企業が撤退してしまう可能性がある。そうなると地権者から市が土地を一時的にも買い取らねばならなかったり、それらの契約違反から損害賠償請求の可能性もある。住民で住宅建築の契約をしたり土地を買い増している方もおり、それらへの賠償なども多発する可能性がある。すでに工事を止めている業者からも損害賠償請求あることが確実であり、「借金を減らすために区画整理を見直す」どころか借金は増え、賠償金など無駄な出費が増えるのではないかと。  
A 反対討論なのか何なのか質問がよくわかりませんが、見直しをしてから再開します。



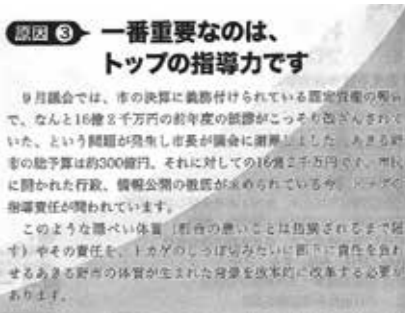
## 【あきる野市に隠ぺい改ざんの実実はなかった】 【村野 栄一 市議】

Q 選挙直前に自身の「議会報告 NEWS」を市内中に配布をしたと思うが、そこに記載してあった、「役所において【会計等財務書類】の隠蔽や改ざんが行われた」という事実はあったのか

A 経過説明を聞き事実はそうではなかったが、そう感じたので、それを自身の議会報告 NEWS で書いた。

Q そのピラには、隠蔽改ざんに伴う措置として、「前市長は自らが責任を逃れるため、職員に対してトカゲのしっぽ切りが行われる体質がある。」と記載があり、村木氏がその体質を改革していく内容であった。前市長がトカゲのしっぽ切りのようなことを行った事実はあったのか。

A 前市長においてトカゲのしっぽ切りのようなことは一切なかった。



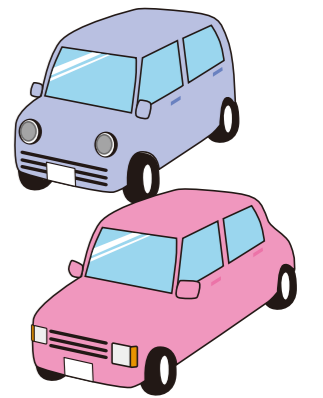
## 【市長車廃止について】 【ひはら 省吾 市議】

Q 運転手付自動車運転業務を長期継続契約していた民間会社に契約解除を申し入れたと聞いている。この解除に伴う損害賠償が発生した場合の責任の所在と財源は。

A 契約解除に伴う損害賠償については、今後、受注者と合意した金額について議会の議決を求め、賠償する必要があると考えている。財源については、一般財源で対応することになると考えている。

Q 公務での移動は、職員に庁用車を運転させているとの事だが、二種免許を取得していない市職員が、万が一事故を起こしてしまった場合、職員に責任を負わせるのか。

A 前の市長車を運転していた高齢者より、若い市職員に運転させたほうが運転がうまいし安全である。(議会最終日に市長から不適切発言の訂正の申し入れがありました。)



## 【地域産業の活性化について】 【中村 一広 市議】

Q 「現在の市内企業、事業所をすべて訪問し、地域産業の現状の調査と皆様のご要望をお聞きします。」と明記されていた。市長就任から約2ヵ月が経過したが、現在何軒位訪問されたか。

A まだ訪問していない。

Q 市内企業、事業所をすべて訪問すると公約で謳っているが、本当に2430軒訪問するのか。(公約として掲げているが最初から公約を果たす気はない。)

A すべては訪問しない。

Q 産業の活性化について、あきる野市のリーダーとしてどういう手を打たなければならないか裏付けがあると思うが、市長に伺う。(現状認識がないためどのような政策を打つか皆無である。)

A 商工会等の関係団体から話を聞き検討していく。



## 【秋川高校跡地への特養ホーム誘致、財政健全化緊急計画策定】 【臼井 建 市議】

Q 市長は「秋川高校跡地利用について、都は、工業的利用よりも高齢者福祉などの利用を希望している」と言ったが、当該案件についての都の所管局は、総務局、財務局、都市整備局の3局である。これまでの経緯から当該3局がそのような意見を言うはずがない。所管外の部署の意見ではないのか。

A 都議会から聞いている。(跡地について所管外の部署からの意見をオール都庁としての意見だということは不適当だし、自分で根拠を確認もしていないのは、市民をミスリードすることになる。)

Q 10月15日の就任時に財政健全化緊急計画をつくることを言っていたが、11月26日の記者会見でそのことを質問されると市長は答えなかった。澤井市長時代の行財政運営基本指針の枠内で取り組むので策定を見送ると報道にもあったが、なぜ、見送ることになったのか。

A 今年度中につくります。(見送りを10日で変更)



【出典都政新報】



## 給食費負担軽減等の実現

昨年10月から幼保無償化の新制度が始まりました。新制度の下では、給食費が無償化の対象外となってしまうため、保護者の間では給食費に対する負担感が出ました。

そこで、志清会では昨年6月に、市長へ給食費の負担軽減策を市独自で新たに設けることなどを求める要望を行い、その結果、澤井前市長の下で月500円の補助を行う市独自の制度を実現させました。なお、それが足掛かりとなり、当該補助制度は今月から月1500円に拡充されています。



## 道路破損等通報アプリ開始

住民がスマートフォン等で撮影した画像の情報を提供すると、巡回中の職員等がそれに基づき補修材料の準備をし、現場へ駆けつけて作業をするなど、アプリケーション利用は有効です。愛知県半田市は当該アプリ運用のであり、現実に運用する場合に問題となりそうな事項を多岐に渡り視察にて確認しました。

その後、視察で得た知見を踏まえ、本市へ住民参加型での整備方法として提案し、令和元年度の予算にアプリケーションの導入費が加わりました。まずは議員を中心に実証実験を行い、その後は市民の声を反映する整備手法として期待をしています。



## 秋川駅周辺の産業活性化

秋川駅周辺産業活性化戦略委員会（会長：黒山一成）における地域活性化の取り組みとして、あきる野市と包括協定を締結している明星大学の学生があきる野ルピアにおいて、12月16日から一週間、期間限定のプラネタリウム付きのカフェを運営しました。満天の星空と期間限定のスイーツを市民の皆様にもご堪能いただきました。私たちは、このような市民主体のまちづくりを積極的に支援してまいります。



## 農業後継者と意見交換会実施

昨年11月27日、今後の農業振興施策について、会派と市内農業後継者で意見交換を行いました。農福連携の実施状況、農業体験、給食で地場産野菜を使ったカレーの日の提案など、活発な意見交換を行うことができました。私たちは、あきる野の農業を積極的に支援すべくこれからも努力してまいります。



## 全国都市問題会議に出席

昨年11月7日から2日間、鹿児島県国分市で開催された全国都市問題会議に出席しました。同会議では毎年、地方都市が抱える共通課題の最新の取組状況などについての有識者による基調講演、パネルディスカッションが行われ、地方議員にとって有益な機会になっています。今回のテーマは「防災とコミュニティ」でした。霧島市や広島市の防災対策、地域防災力の強化など、大きな知見を得ることができました。当市の重要課題である「防災対策」を充実すべく、今後とも一生懸命取り組んでまいります。

また、会議に先立ち、いじめ対策全国1位(NPO調査)の鹿児島市を訪れ、いじめ・不登校対策を視察しました。同市の特徴は「いじめを許さない」という強い意識が各種施策に表れていることです。いじめ対策方針も既に改定しており、保護者向けのリーフレットなどはとても充実しています。また、不登校になっている児童生徒のために自宅等に教員免許を持った学習支援員を派遣する制度があります。この学習支援を通じて不登校の解消にもつながっているとのことでした。当市としても研究する価値があると思います。



### トピック

一般質問の詳細は、議会HPまたは「ギカイの時間(2月1日号)」をご覧ください。

問合せ先：自由民主党志清会  
担当 白井建 ☎042-559-3331